

Report

第110回品質管理シンポジウム

価値創造・品質保証・安全確保に寄与する 組織文化をつくる

去る、2020年12月3日(木)～5日(土)、大磯プリンスホテル(神奈川県大磯町)にて、第110回品質管理シンポジウム(以下、110QCS)が開催されました。新型コロナウイルスの影響により6月に予定されていたQCSは開催を見合わせましたが、今回はコロナ禍の状況を考慮し、QCSでは初めてオンライン併用で開催し、約170名(現地約100名、オンライン約70名)の方々にご参加いただきました。

QCSは、1965年に日科技連が品質管理の今後の発展を希求して始まったもので、55年の歴史を誇るビッグイベントです。組織的・計画的な総合研究の場として、年2回開催しています。

110QCSは、中央大学 中條武志教授が主担当組織委員を務め、「価値創造・品質保証・安全確保に寄与する組織文化をつくる～人の行動を変えるためのマネジメントとその実践～」をテーマに開催しました。

価値創造・品質保証・安全確保に寄与する組織文化をつくるためには、どのようなマネジメントの実践が必要なのか。そして、一人ひとりがどのような行動を取る必要があるのか。考え方、価値観が多様化する中で、一人ひとりが行動を変え、組織の持つ能力を引き出すための取り組みと、その取り組みを実践、継続するためには何が必要かを議論しました。

初日の特別講演では、「変化する時代におけるサステイナブルな経営」と題し、住友商事(株)の中村邦晴取締役会長が、同社における社会課題に対応した取り組みの紹介と合わせ、中村会長の経営者としての経験から「人の品質管理」として、「組織は人がすべてである、高潔な倫理観を持って良い仕事をしてほしい」と語られました。その他、3日間のプログラムの中で行われた講演は右表の通りです。

2日目の夕方から夜にかけて、現地参加者はグループ討論(8班)を行いました。最終日にはグループ討論の成果の発表と、その内容を基にした総合討論が行われました。各講演と合わせ、グループ討論の発表、

110QCS 講演内容

月日	講演者
12/3 (木)	■特別講演 「変化する時代におけるサステイナブルな経営」 住友商事(株) 取締役会長 中村 邦晴 氏
12/4 (金)	■基調講演 「価値創造・品質保証・安全確保に寄与する人の行動とそれを生み出す組織のマネジメント」 中央大学 教授 中條 武志 氏 ■講演1 「しぶとい日本のものづくりへ～組織能力向上と仕事の変革～」 トヨタ自動車九州(株) 代表取締役社長 永田 理 氏 ■講演2 「全員参加による付加価値のある売場の創出」 アクシアル リテイリング(株) 代表取締役社長 原 和彦 氏 ■講演3 「ANAの安全文化醸成の取り組み」 panda・Flight・Academy(株) 顧問 田中 龍郎 氏 ■講演4 「パナソニック コネクティッドソリューションズ社の企業変革の取り組み」 パナソニック(株) 代表取締役 専務執行役員 コネクティッドソリューションズ社 社長 樋口 泰行 氏

総合討論の様子はオンライン参加者にも共有が図られました。

* * *

次回は、2021年5月31日(木)～6月2日(土)の日程で大磯プリンスホテル(神奈川県大磯町)にて、「データ駆動型社会における顧客価値創造と組織能力向上」をテーマに開催します。詳細は専用Webサイト(<https://www.juse.jp/qcs/>)をご参照ください。

[報告：鈴木 真(日科技連・広報・国際グループ)]